

2018年3月期 第1四半期 決算説明資料



エコモット株式会社

2017年8月7日

証券コード：3987

第1四半期トピックス（対前年同期比）

パッケージサービスの堅調な売上により

売上高202%に拡大

×

販管費比率・営業利益率の改善により

営業損失の大幅縮小

全体

- ・売上高 **278,784千円** 対前年同期比 +140,434千円 (201.5%)
- ・営業利益 **▲25,278千円** 対前年同期比 +30,741千円 (-)
- ・経常利益 **▲38,349千円** 対前年同期比 +17,822千円 (-)
- ・四半期純利益 **▲26,044千円** 対前年同期比 +11,358千円 (-)

営業利益、経常利益、四半期純利益がマイナスとなっている理由は次ページ「(参考) 売上高・営業利益の季節的変動について」を参照

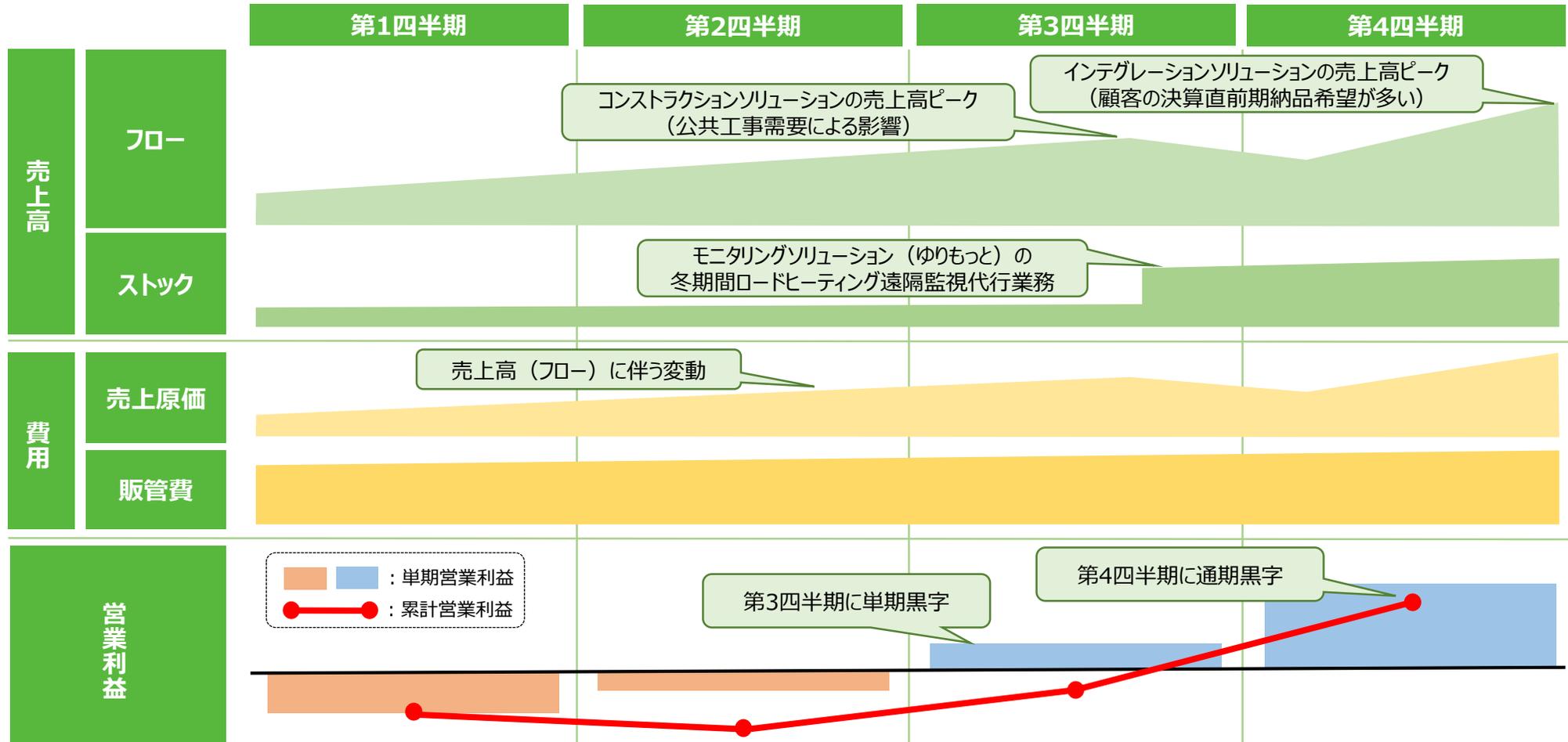
ソリューション別
売上高

提供スタイル	ソリューション分類	売上高
インテグレーション による提供	インテグレーション ソリューション  FASTIO	13,676千円 対前年同期比 +3,491千円 (134.3%)
	コンストラクション ソリューション  GR 現場ロイド	141,286千円 対前年同期比 +50,842千円 (156.2%)
パッケージサービス による提供	モニタリング ソリューション  YR ゆりもっと	9,414千円 対前年同期比 ▲3,082千円 (75.3%)
	GPS ソリューション  Pd Pdrive	114,407千円 対前年同期比 +89,183千円 (453.6%)

(参考) 売上高・営業利益の季節的変動について

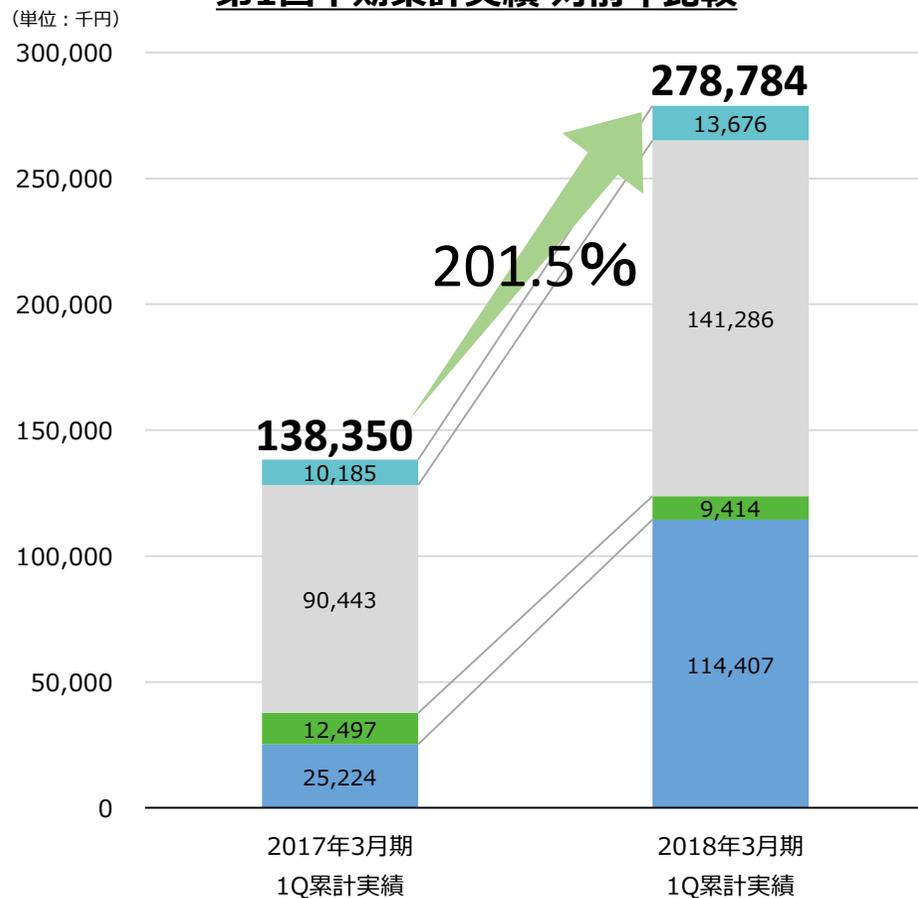
提供ソリューションの性質上、売上高が下半期に集中するため、営業利益は第1四半期、第2四半期はマイナスとなるが、第3四半期から単期黒字化、第4四半期に通期黒字化となる見込み

■ 四半期ごとの売上高・営業利益のイメージ

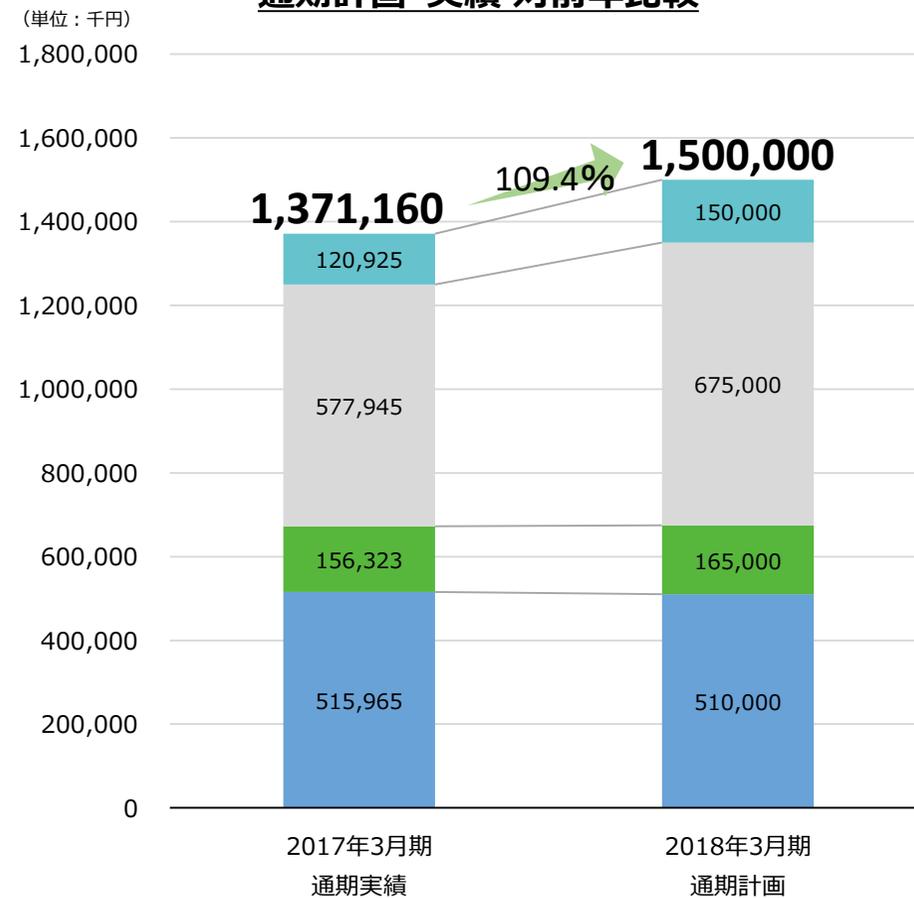


第1四半期実績は、パッケージサービスの堅調な売上等により、対前年同期比201.5%と大幅に拡大
 (売上高実績の主な増加要因は次ページ参照)

第1四半期累計実績 対前年比較



通期計画・実績 対前年比較



■ GPSソリューション ■ モバイルソリューション ■ コンストラクションソリューション ■ インテグレーションソリューション

■ GPSソリューション ■ モバイルソリューション ■ コンストラクションソリューション ■ インテグレーションソリューション

ソリューション別売上高の主な増加要因

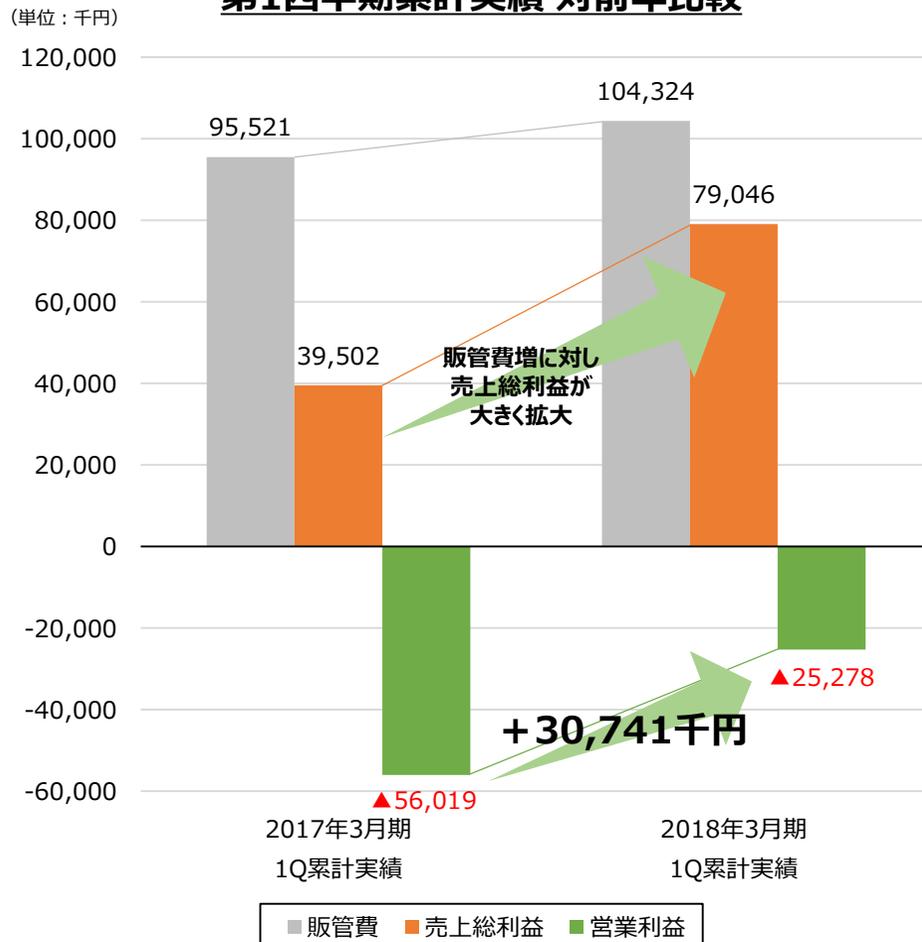
ソリューション分類	第1四半期実績 (対前年同期比)	主な増加要因
インテグレーション ソリューション 	13,676千円 対前年同期比 + 3,491千円 (134.3%)	<ul style="list-style-type: none"> ・受注数拡大によるフロー売上増 ・利用者数拡大によるストック売上増
コンストラクション ソリューション 	141,286千円 対前年同期比 + 50,842千円 (156.2%)	<ul style="list-style-type: none"> ・西日本エリアにおける売上増 ・大口案件受注による売上増
GPS ソリューション 	114,407千円 対前年同期比 + 89,183千円 (453.6%)	<ul style="list-style-type: none"> ・OEM提供先の新規導入件数の拡大によるフロー売上増 <small>※OEM提供先の本格営業開始時期：2016年9月</small> ・利用者数拡大によるストック売上増

営業利益実績・営業利益改善要因

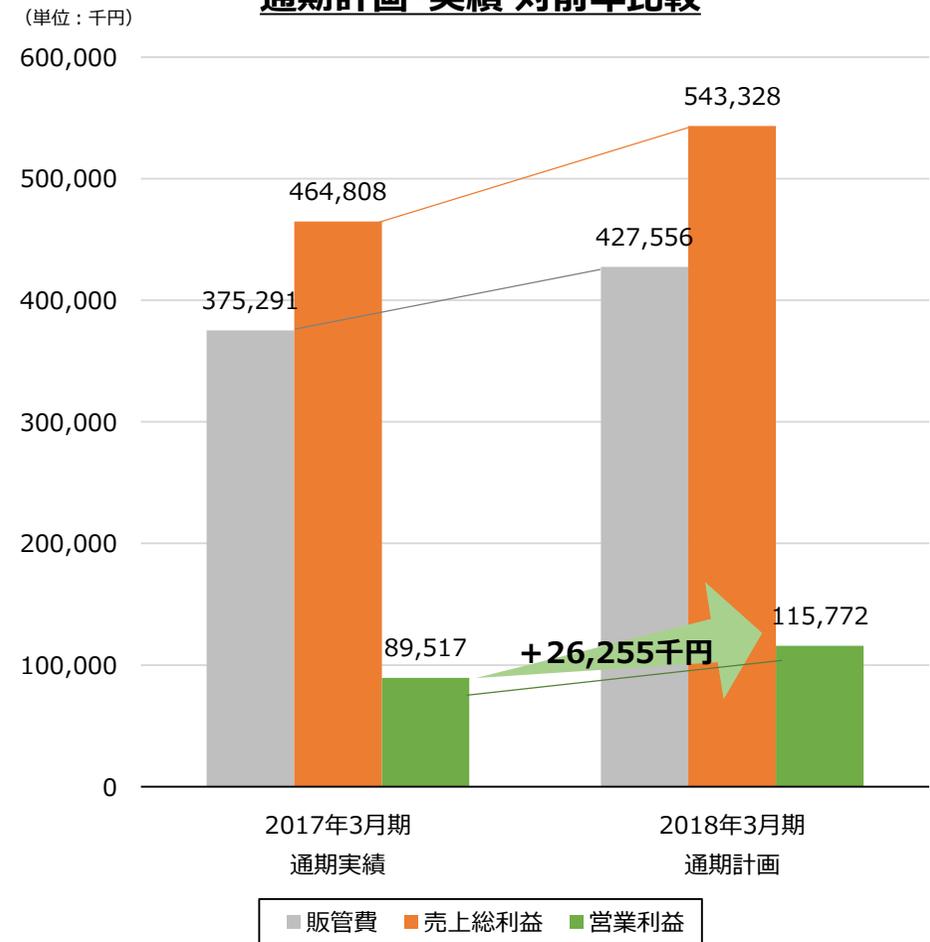


第1四半期営業利益は、対前年同期比+30,741千円の▲25,278千円と大きく改善
 営業利益改善要因は、販管費の対前年同期比+8,803千円（109.2%）に対し、売上総利益の対前年同期比が+39,544千円（200.1%）と大きく拡大したため

第1四半期累計実績 対前年比較

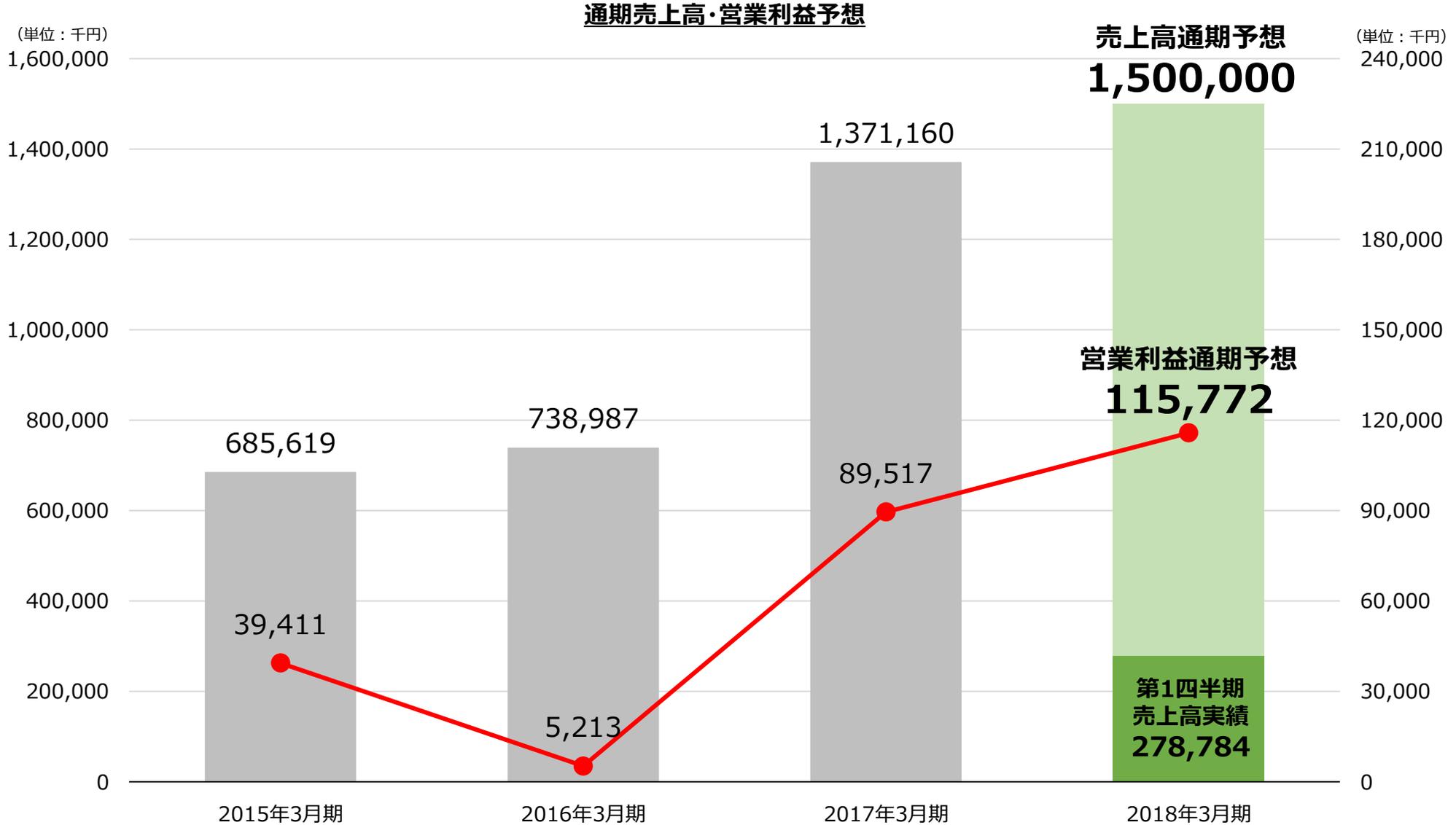


通期計画・実績 対前年比較



(単位：千円)

	2017年3月期		2018年3月期			
	第1四半期 累計実績	通期実績	第1四半期 累計実績	対前年同期比	通期予想	対前年比
売上高	138,350	1,371,160	278,784	+140,434 (201.5%)	1,500,000	+128,840 (109.4%)
営業利益 (営業利益率)	▲56,019 (▲40.5%)	89,517 (6.5%)	▲25,278 (▲9.1%)	+30,741 (-) (+31.4ポイント)	115,772 (7.7%)	+26,255 (129.3%) (+1.2ポイント)
経常利益	▲56,171	93,949	▲38,349	+17,822 (-)	100,347	+6,398 (106.8%)
純利益	▲37,402	66,054	▲26,044	+11,358 (-)	65,000	▲1,054 (98.4%)



分類	主なトピックス
経営関連	<ul style="list-style-type: none"> ■ 札幌証券取引所アンビシャス市場上場 (6月21日) <ul style="list-style-type: none"> ・目的:信用力、知名度向上によるアライアンス強化、優秀な人材採用強化 資金調達力向上によるサービス開発強化 ■ エコモットにおける組織変更 (7月14日) <ul style="list-style-type: none"> ・目的:経営企画機能・製品開発力・営業機能の強化、および効率化
アライアンス 関連	<ul style="list-style-type: none"> ■ 日商エレクトロニクス株式会社とのIoT事業における協業 (4月3日) <ul style="list-style-type: none"> ・目的:GPSソリューションにおける売上拡大 ■ Yellowfin Japan株式会社との協業 (6月23日) <ul style="list-style-type: none"> ・目的:インテグレーションソリューションにおける売上拡大 ■ 株式会社フレクトのリアルタイム車両管理「Cariot」へのGPS端末提供 (7月10日) <ul style="list-style-type: none"> ・目的:GPSソリューションにおける売上拡大 ■ 「北海道IoTビジネス共創ラボ」の発足に際し、エコモットが幹事企業として参画 (7月26日) <ul style="list-style-type: none"> ・目的:北海道におけるIoT事業の普及拡大
セミナー 関連	<ul style="list-style-type: none"> ■ Yellowfin Japan株式会社と「ビッグデータ+IoTで切り開くデータビジュアライズの新たな地平！」共催 (4月27日・東京) ■ 株式会社テラスカイ、IMV株式会社と「IoTソリューションセミナー」共催 (5月26日・大阪) ■ Yellowfin Japan株式会社、NTTテクノクロス株式会社と「IoT実践セミナー」共催 (6月22日・大阪) ■ 株式会社セールスフォース・ドットコム、株式会社テラスカイと「エンタープライズIoTのセカイ」共催 (6月30日・東京)

- **本資料は、情報提供を目的としたものであり、当社株式等特定の商品についての募集・投資勧誘・営業等を目的としたものではありません。**
- **本資料に記載されている見解・見通し・予測等は、資料作成時点での当社の判断です。将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を確認された上で、ご利用ください。**
- **本資料で提供している情報は万全を期していますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また予告なしに内容が変更または廃止される場合がありますので、あらかじめご了承ください。**
- **本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。**